

# かわら版 育種の波動

全国新品種育成者の会発行

## 育種賞・育種功労賞受賞者の取組

3月2日の第35回総会の場で表彰された3人の育種の取組みを紹介します。

### 育種賞 高野卓郎さん 岩手県奥州市

育種作物 りんご

育成品種 紅ロマン、藤原ロマン、ゴールドロマン、奥州ロマン、みちのくロマン、江刺ロマン、伊達ロマン、ロマンのしずく、ロマンエース  
(台木用品種)



高野卓郎さんと奥様（みちのくロマンの園場にて）

**受賞歴** ふじ生誕60周年記念全国りんごコンクール全国第1位（平成12年）、全国果樹技術・経営コンクール農林水産大臣賞（平成19年）、農事功績者表彰（果樹部門）緑白綬有功章、黄綬褒章（ともに平成21年）など多数

#### ①育種を始めた背景・きっかけ

農園の経営を息子に引き継ぎ、平成8年から育種を開始。平成18年からリンゴ台木用品種の育種、平成23年から県と共同して重イオンビーム照射による育種と赤肉品種の育種を開始

#### ②育成品種の普及

紅ロマン、藤原ロマン、ゴールドロマンは、県内限定販売、奥州ロマン、みちのくロマン、江刺ロマンは、全国の苗木業者による販売、江刺ロマンはアメリカで登録、奥州ロマン、江刺ロマンは、中国・韓国に登録申請中、みちのくロマンは、ヨーロッパで試作中

#### ③新技術の開発と普及

低樹高剪定技術、訪花昆虫マメコバチの増殖技

術、JM系台木の接木挿し木技術、JM系台木利用



奥州ロマン



ロマンのしずく

による超密植育種技術（無剪定、無摘果でも早期結実を実現）、廃タイヤを活用したネズミ防除法などを開発し普及

#### ④リンゴの産地化、江刺りんごのブランド確立

昭和35年に「ふじ」を導入・増殖を開始。昭和46年江刺りんご同好会を設立し、生産者自らが矮化栽培用の苗木を生産。昭和48年国のわい化栽培モデル園設置事業を導入。昭和47年アメリカの「ジョナゴールド」を導入し、地域の代表品種に育てる。数々の技術を開発普及し、担い手を育成し、江刺りんごのブランド化に努める。

### 育種功労賞 吉池貞蔵さん 岩手県花巻市

育種作物 リンドウ、バラ

育成品種 リンドウ：いわて、ジョバンニ、マリシイ、ホモイなど  
バラ：雨ニモマケズ・リバーシブルピンク、真宙（まそら）、田毎の月、ファミリー、イーハトーブの朝、カンパネラなど

**受賞歴** 科学技術庁長官賞（平成3年）、自治大臣表彰（平成7年）、松下幸之助花の万博記念奨励賞（平成10年）、園芸文化賞（平成25年）など多数



吉池貞蔵さん

#### ✿ リンドウ

#### ①育種を始めた背景・きっかけ

昭和35年頃、農家が野生のリンドウを水田に植

えて出荷していたが、種から栽培する技術がなく、数年で株が弱まり、病気になるものも多かった。昭和35年県の園芸試験場職員となり、昭和40年に休眠打破を行って実生から栽培できるようにし大量増殖が可能となり、品種改良を開始した。

### ②育成の成果

昭和52年リンドウで初のF1品種「いわて」を育成、その後多くの切り花品種を育成したことで岩手県内各地での栽培が進み、平成元年には切り花出荷量が全国1位となった。

平成3年からは、安代町リンドウ研究開発センターに移り、地元農家と生産現場で使える品種を多数育成した。



いわて

### ③新技術の開発

休眠打破により実生からの栽培を可能にし、大量増殖の道を開いた。リンドウは、自殖を繰り返すと近交弱性が見られることから、F1品種を作つて問題を解決し、多くのF1品種を育成した。

## ✂ バラ

### ①育種のきっかけ

安代町リンドウ研究開発センターを退職したので、好きなバラの育種を始めた。



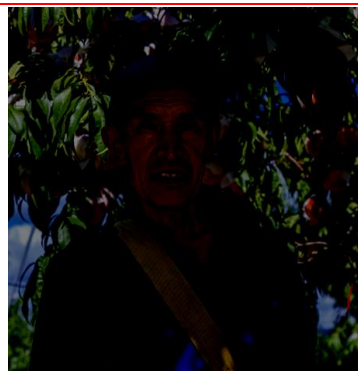
### ②育成の成果

「ファミリー」が、第7回ぎふ国際コンテスト銀賞、世界ばら会連合賞を受賞し、その後ぎふ国際ローズコンテスト、越後香りのばら新品種コンクール、日本ばら会国際新花コンクールなどに育成した20品種を超える品種を出展数々の賞を受賞している。

## ✂ 育種功労賞 高橋忠吉さん 福島県伊達市

育成作物 もも

育成品種 まなつ、優香の夢、ゆめかおり、夏の陽、シーエックス、黄美の香り、スイート麗（ネクタリン）、黄美のハート、美の月、きらら姫など



高橋忠吉さん

### ①育種を始めた背景・きっかけ

「白鳳」に変わり県の主力品種となった「あかつき」が小玉品種だったので、市場評価の高い大玉の品種を欲し、育種を始めた。

### ②育種の成果

5年生のモモの実生から4品種を育成後、良食味の「西野白鳳」を母親とする自然交雑実生から10品種以上を育成した。全国的に多発している穿孔細菌病に耐性がある「シーエックス」、「スイート麗」（ネクタリン）、「C28」、「C26」などを育成した。

### ③育成品種の普及

福島県、山形県、山梨県の4苗木業者が販売、「スイート麗」（ネクタリン）は、アメリカで登録、「黄美の香り」、「黄美のハート」、「スイート麗」（ネクタリン）は、韓国、豪州、中国、ニュージーランドに登録出願

### ④県内育種家の研究会活動

昭和55年に発足した福島県育種研究会（会員20名弱）の会長として、個人育種家の技術の向上、育成者権の取得と保護等に尽力している。



## ジャパンフラワーセレクション2021

### 優秀賞を受賞 「コサージュ(NF)ソニック」

当会会員である中曽根健さん育成のトルコギキョウ「コサージュ(NF)ソニック」がジャパンフラワーセレクション2021の春の審査会で切り花部門の優秀賞を受賞されました。緑がか



つた黄色と紫のこれまでにない色の大輪フレンジ八重品種です。

昨年のジャパンフラワーセレクションでは、金澤美浩さんのシク ラメン「チモローゼスライトピンク」と長谷川康平さんのクレマチス「華川」も、鉢物部門で優秀賞を受賞し、当かわら版11号に掲載

しましたが、中曾根さんが受賞したことの掲載を漏らしていましたので、改めて掲載しました。

コサージュ (NF) ソニック

## 安藤相談役(初代会長)が 自叙伝を発行

当会の初代会長(現相談役)の安藤淳夫さんが、6月5日に自身の生涯を書いた自叙伝を発行しました。手狭になった東京世田谷区の農地でも収益をあげられる小松菜を見い出して栽培に取り組んだ歴史、個人育種家として当会の設立と発展に取り組んだ安藤さんの思いと行動が綴られています。



## 竹下大学さんの著書

### 「野菜と果物 すごい品種図鑑」が出版 品種誕生の歴史や味わい方・育て方を紹介

2019年に出版された「日本の品種はすごい うまい植物をめぐる物語」(中公新書)の著者で、当会で講演もされ、昨年からは育種賞・育種功労賞の選考委員となった竹下大学さんの新たな著書「野菜と果物 すごい品種図鑑 知られざるルーツを味わう」(株式会社エクснаレッジ、税込み価格1,980円)が、7月に出版されました。

この本では、野菜と果物約40種類の約194品種の魅力がガイドされ、品種の魅力と歴史・味わい方・育て方が、写真やイラストなどを通して、わかりやすく紹介されています。



## 著者 竹下大学さんより

育種や品種改良について、誰もが興味を持ち、なおかつ理解できるように伝えるのは難しい。まして一般消費者に対しては至難の業。ただ、これができれば育種家はずっと働きやすくなるはず。でも、いったいどうやって???

本書ではその答えのひとつを提示したつもりです。結果として類書が存在しない本ができあがりました。最大の特徴は、各作物の「つかみ」となるネタを見開き2ページで整理したこと。写真とイラスト主体で、日本における品種改良の歴史を親子でも楽しめるようにしたことです。

自分が育種している作物以外に目を向けてみると、

驚きや発見がたくさんあります。これこそ消費者に近い気持ちなのではないでしょうか。育種家それぞれがいまよりも話の守備範囲を広げれば、きっと世の中の目をいまよりもっと品種や育種に向けさせられると思うのです。

まずは本書を片手に、様々な品目の品種改良の流れを把握し、面白いと感じたネタについて誰かにしゃべってみることから始めてみませんか。

\*\*\*\*\*

## わたしの育種奮闘記

### これまでになかった花色や香りのある ツバキの育成をめざして

#### 2品種がフランスのエリゼ宮と市の美術館に植樹

**松井清造**：江戸時代に加賀百万石の城下町として栄え、今も歴史的風情が残る石川県金沢市で、ツバキを育種している松井清造です。新品種育成者の会の事務局に携わっている岩澤さんに誘われて昨年入会し、皆様の仲間入りをさせてもらいました。岩澤さんが農水省の審査官のときに、私の育成品種「ベルサイユ」の現地調査に来てくれたことが縁でした。

私は東芝の販売店に勤めていた24歳の時に庭師をしていた父から、私と二人の兄のいる場で後継いでほしいとの話があり、兄2人は勤めていた会社の幹部だったことなどから、三男の私が後継ぎことになってしまいました。その後、日本三大名園の兼六園に京都の裏千家の茶室を建て直す父の素晴らしい仕事を見て、自分も庭師として頑張ろうという思いになることができました。ツバキの育種を始めたのも、いろんなツバキを集めて作ったりしていた父から勧められたからです。しかし、私が庭師になった1年後に、父は事故で亡くなってしまいました。



松井清造さん

そんな私に「自分が教えてあげよう」と声をかけてくれたのが、父と仲の良かった兼六園の庭の管理を任されていた植宗園の6代目の植村さんでした。それから約2年間、夜に植村さんから様々なことを教わりました。植村さんは、何冊かの本を読むように薦めてくれたり、この人から学べと優秀な庭師などを紹介してくれました。それは、私のツバキの育種にも大きく役立っています。植村さんから紹介された愛知県稲沢市の桜木さんからは接ぎ木技術を、佐藤さんからは人工交配の仕方を教えていただきました。カリフォルニア大学のDr.クリフォード氏からは、国際会議でニュージーランドに行っていたときにDNA、染色体などの講義を2週間受けることができました。このように学べたことから、私は20代後半からツバキの育種を始めました。私は海外の品種も交配親とし、早生でこれまでにない花色や香りのある品種の育成を目標としてきました。

ツバキは交配しても、その花が見られるのは、実生から7~8年後まで待たなければなりません。北陸の冬の寒さは厳しく、大雪に見舞われることも度々です。雪が降ると、温室では夜もストーブを切らさずに炊き、一晩で180の灯油を使い果たしてしまうこともあります。自分の部屋では夜はストーブを消すので、家内は「そんなことはやめたら」と言うのですが、せっかく交配したツバキをだめにしてしまうことはできないと続けています。そのような中、明紅色で八重咲大輪の「ベルサイユ」、黄白色で一重咲き小輪の「21世紀金沢」の2品種を育成することができました。

その「ベルサイユ」の写真を見てくれた谷本前知事の奥さんが「これまでに見たことのない品種なので、著名人などに名前を付けてもらった方がいい。」と言ってくれたのです。「ベルサイユ」の名は、私の親戚で加賀象嵌の人間国宝の中川さ



ベルサイユ

ユ

んが考えてくれたのですが、この名をつけるには、フランスの了解をもらった方がいいだろうと、フランス共和国元老院議員でミッテラン大統領の側近であったアラン・バクジョアル氏を通してフランスの許可を取ることができ、品種名を「ベルサイユ」に決めることができたのです。

その時のフランス特命全権大使はシラク大統領の外交顧問をされた方で、金沢に来た時に市内を紹介しました。その大使から「ベルサイユ」の苗を持ってパリに来てほしいと言われ、名付け親の中川さん等と一緒にパリに行きましたが、パリでは一般の人が立ち入れないシラク大統領の官邸であるエリゼ宮に入らせてもらい、植樹を行える専属の庭師に苗を渡し、2本の苗を官邸内の大統領の庭に植樹してもらうことができました。そして何と、シラク大統領から仏日親善の記念メダルをいただくことができました。メダルはシラク大統領から直接渡されるとのことでしたが、大統領はアメリカのブッシュ大統領がフランスを訪問していたりして時間が取れず、代理として外交顧問であったモールス・グールドモンタニュー氏から純銀製のメダルを渡し



#### シラク大統領から授与されたメダル

ていただきました。一般の人は入れない大統領官邸に私の品種を植えていただき、フランス大統領からメダルを送られたことは、全く予期していないことであり、言葉には表せない感激でした。いただいたメダルは、私の一生の宝となっています。

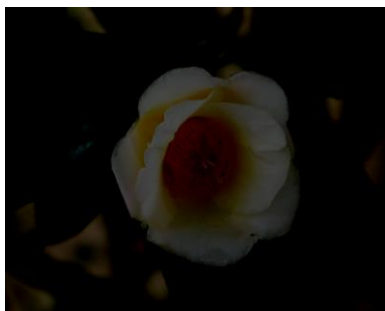
「21世紀金沢」については、私が庭を作らせてもらった近所に住む前金沢市長の山出さんから呼ばれて、「市立の美術館を作るときにシンボルツリーが必要なので、創って欲しい。黄色い色の品種が欲しい。」と頼まれたことから、育種を始めたのです。市長からの頼みなのでプレッシャーがかかりましたが、何とか約束した黄色の品種が作れ、市長が「21世紀金沢」の名称を付けてくれて、完成した「金沢21世紀美術館」の入り口に植えてもらったので本当に良かったと思っています。美術館に植えられた木は3本ですが、今では3mの大木となり、

来館者を迎えてくれています。

私は石川県ツバキ会の会長もさせてもらって

います。この会は、会長が亡くなって廃止された石川県ツバキ愛好会の元会員から再度作ろうとの声上がり、平成10年から名称を変えて作られ、ツバキに愛着を持つ50名ほどの会員がいて、展示会、講習会などを実施しています。

さて、私は、愛知県名古屋市に住んでいた育種家の杉原先生から、自分は年齢がいつているから



#### 21世紀金沢

と、これまでに手に入れた海外などの貴重なツバキを譲ってもらえました。それらの中には、珍しい特性を持つものがいろいろありました。しかし、気象条件等の関係などで、日本で栽培するのは困難なものが多いのです。そのため、日本に適した品種を作る育種に取り組んでいます。交配数は、一人で作るには限度がありますが、毎年200ほど行っています。このように交配した中から、赤い花弁の先端が青いために花の先端に円く青色が入るもの、咲き始めは黄色で後に白くなるアザレア系のもの、黒い花の咲くものの3品種が得られたので、秋に特性調査を行って登録出願しようと、今名称を考えているところです。

私は育成途中に大雪に見舞われ、朝に温室がつぶれていたことを2回経験しました。その時は、

「長い間、何のためにこんな苦勞をしてきたのか」とがっくりするのですが、かわいそうだという気持ちが溢れてきて、積もった雪をかき分けて大丈夫と思うものを必死に生き返らせてきました。初めてその花が咲いたときは、思い通りの気に入った花でなかったとしても、本当にうれしい気持ちが湧いてきます。私にとっては、それが何よりも育種の喜びの瞬間なのです。

私は、父の庭師の仕事を継いで、父から勧められたツバキの育種も始めましたが、その父がすぐに亡くなったにもかかわらず、父と仲の良かった植宗園の植村さんやDr.クリフォード氏などから育種に関する知識等を学び、育成品種の名称を中川さんや前市長から付けてもらうことができました。更に、「ベルサイユ」はフランスの大統領官邸であるエリゼ宮、「21世紀金沢」は市の金沢21世紀美術館にそれぞれ植えていただきました。私の育成した品種がこのような光栄に恵まれるとは思ってもみなかったことであり、豪雪でハウスが潰れても諦めずに育種を続けてきて良かったと心から思っています。お世話になった多くの皆様には、感謝の思いしかありません。

これからも、ツバキを愛する多くの皆さんに喜

んでもらえるような新しいツバキの育成に取り組んでいきたいと思っています。



## 紹介してください

あなたの知り合いに  
優秀な育種家の方はいませんか

総会で表彰する育種賞・育種功労賞の受賞者は、皆さんから推薦された育種家の中から審査委員が選ぶことになっています。

年末に予定される選考委員会に向けて、お盆明けから10月20日までを募集期間として、会員の皆さんからの紹介を受けることにしました。頑張っているこの人を表彰してほしい・・・。そんな人がいれば、いつでも事務局にお知らせください。紹介したい人は会員でなくても大丈夫ですので、宜しくお願いいたします。



## 活動暦

- 5/26 青果育種研究会総会 (岩澤)
- 5/30 横浜国際博覧会に関する博覧会協会との打合せ (金澤、佐藤、笈川、長谷川、岩澤)
- 6/15 植物品種保護戦略フォーラム (岩澤)
- 6/29 植物品種保護等海外流失防止対策コンソーシアム (岩澤)
- 7/7 農林水産省知的財産課種苗室 海老原新室長への挨拶 (岩澤)
- 7/26 ジャパンフラワーセレクション実行委員会 (金澤)
- 7/28 全国花き輸出拡大協議会総会 (川村)

## 伝言板

 今回のかわら版の初めの記事には、3月に育

種賞・育種功労賞を受賞した3人の取組を掲載

しました。高野さんは80歳、吉池さんは90歳を

それぞれ超えておられますが、現在も育種に取り

組まれています。高野さんは、育種だけでなく、生

産現場に役立つ栽培技術等を生み出し、吉池さ

人は生産現場に役立つ品種を地元農家と一緒に

になって育成され、共に地域をりんごとリンドウの

産地にされたことはすばらしい業績だと感じまし

た。この賞は、会員を表彰するものでしたが、今は

会員以外のすべての育種家も対象となりました。

この3人も昨年推薦された時は、会員ではありま

せんでした (現在は3人とも会員)。このように受

賞対象が大きく広がったことから、全国には優秀

な育種家がまだ数多くいるものと思います。今後

も会員の皆様からの推薦をいただき、素晴らしい

育種家を発掘し、表彰してまいりたいと思っています。

 この夏は、九州、東北、北陸で線状降水帯の発

生等により1時間に70ミリ以上というような豪雨

となつて河川の氾濫等による被害が起こり、また

全国的に異常な猛暑が続いています。幸

い、豪

雨のあった地域の会員は、大きな浸水被害は

ダルマ

当時のシラクフランス大統領から記念メ

これまでのところ受けていない状況ですが、今後

経験でき

で授与されたことを聞いたときは、誰も

もいつ気象災害が起きても不思議でない状況で

した。

ることではないと思うので本当に驚きま

す。新型コロナの感染も急拡大しており、当会員

事を掲

今後も、会員の皆様の育種の紹介記

の中から被害者や感染者を出さないよう、更に注

う依頼の

載してまいります。書かせてほしいとい

意していきたいと思います。

電話が皆さまのところにもかかることに

6月頃はコロナの感染も少なくなってきたので、年内には講演会等の会合も会場に集ってできる

なると

と思いますが、ご協力をよろしくお願いたします。

のではと期待していましたが、ここにきて再び急

当かわら版への意見、情報提供、問合せ先

拡大していることから、まだしばらくはZoomによ

全国新品種育成者の会事務局

岩澤 弘道

る会合を続けることになりそうです。早くコロナが

090-405 9-1096

終息の方向に向かい、皆さんと顔を合わせるこ

Fax 03-3691-2818

ができることを念願しています。

メール iwa.hinsyudebyu.512@gmail.com

金沢市で庭師をされながらツバキの育種をさ

れている松井さんの体験記事はいかがでした

しょうか。お父さんの仕事を継いだ1年後にその

お父さんが亡くなってしまったのに、次から次へ

と仕事や育種などを教えてくれる人が現れたの

も驚きですが、ハウスが雪で潰れても雪をかき

分けて育成中のツバキを生き返らせて作った2

品種がそれぞれ、フランス大統領官邸のエリゼ

宮の庭と、市の金澤21世紀美術館に植えられ、